

# ケーススタディ：TFTは集中治療室の心房性細動を止める

JATFT

ケーススタディ：TFT は集中治療室の心房性細動を止める

**Roger Callahan, Ph. D. (1998)**

ロジャー・キャラハン 博士

ラスベガスから帰宅した夜、私たちは、心房性細動により集中治療室（ICU）にいる人から電話をもらった。彼は薬物治療に反応しておらず、何年も心臓の問題に苦しんでいた。彼は病院から心房性細動の薬を与えられていたが、悪化しているようであった。

注意：後に退院してから、彼の主治医は彼が深刻なアレルギーのある薬を処方していたことに気づいたのだ！彼の心臓内科医は外出中で、明らかに患者の記録を見ていなかった。

彼が電話をしてきたときには、明らかに心配をしていた。もし、彼の心臓が朝になるまでに洞律動にならなければ、心臓を止めて再起動させなくてははいけなかった。私は、心臓のHRVの局面を測る精巧な器械でTFTアルゴリズムの劇的な効果を目の当たりにしたところなので、VTでできることを見ってみることにした。私はVTで彼の6つの治療を処方し、電話を切った（アルゴリズムはこの紳士には効かないだろうと思ったからだ）。45分くらいして彼は電話をしてきて、VT治療が終わってから30分して洞律動に戻り、この15分くらい大丈夫だと教えてくれた。私たちはこの患者の劇的なHRVのデータを3つ持っている。そのデータによると、明らかにアルゴリズムレベルでいくらかの改善があったが、数分のうちにVT診断によって彼の自律神経系（ANS）がバランスをとったのだ。

このようなことは、偶然の出来事ではなかった。現在、TFT VTで心房性細動に成功した例がさらに5つある。我々のVTセラピストの何人かは、ICUを含む心房性細動のケースに成功している。